

編集後記

<城 所 仂>

消化管出血の緊急診断に関して主題5, 座談会が収録されている。今号では緊急診断に重点をおいたため, 緊急内視鏡診断が強調されるようになったのは, やむをえないことかもしれない。

しかし熟達者の諸先生の緊急時の施行方法, 施行時の注意, 麻酔医や外科医との協力の重要性, ショック対策の重要性などに関する御意見が浮彫りにされており, 読者にとってもたいへん参考になるものと思う。

今回は Dr. Classen ら, Dr. Seifert ら, および Dr. Dagradi の3本の緊急内視鏡診断の論文がはいっており, 外国の現状を知るうえでも興味深いものがある。

座談会では外科, 内科, 放射線科の各専門の先生に, 実地に即して急性消化管出血患者をどのように取扱うかについて, ざくばらんな御意見をいただいた。

実地に患者に接する場合の貴重な参考になることと思う。

また最近では消化管出血の診断に血管撮影の重要性が強調されるようになっている。

この問題についての2題の論文はたいせつな意味をもっている。

その他の研究欄1題, 症例報告3題, 技術解説もそれぞれ個性のある内容をもっており, 全体を通じて比較的目あたらしい, そして実地に役立つ, 内容の豊かなものになったことに対して, 執筆いただいた諸先生に深い敬意を表する。

<編 集> 早期胃癌研究会